

<p>正式名称</p>	<p>直方市石炭記念館(昭和 46 年 7 月開館)</p>
<p>場所、アクセス</p>	<p>福岡県直方市大字直方 692-4 JR 筑豊線直方駅から徒歩 10 分 改札を出ると親切な案内板や道路標識が多くあり、道に迷うことはない。</p> 
<p>通常利用可能なメニュー</p>	<p>・日本最大級の石炭博物館</p>  <p>・展示物(館内は撮影禁止) 本館(直方市の文化財に指定) 明治 43 年 8 月に筑豊石炭鉱業組合直方会議所として建てられた建物で、筑豊炭坑の歴史、即ち 会議所の議事録、坑内の模型など炭鉱の歴史を伝える品々が展示されている。</p>

	<p>別館(注:写真正面の建物が別館)</p> <p>平成 2 年に立て替えられ、日本一の石炭塊や模擬採炭切り羽の模型等が展示されている。</p> <p>コベル 32 号蒸気機関車</p> <p>別館の左の機関車。ドイツから輸入され昭和 51 年の閉山まで 52 年間走り続けた機関車。</p> <p>他にも日本車両の蒸気機関車、ディーゼル機関車、電気機関車等が屋外に展示されている。</p> <p>救護訓練坑道(延長 117m、傾斜 20 度)</p> <p>事故等の際の救護班の訓練施設</p> <p>適宜 特別展が開催されている。</p>
ここがお勧め！	<p>・炭鉱の事故の低減のための保安技術史的内容</p> <p>特に坑内での火災事故の低減に貢献した各種“燈“の改良品の時系列的な展示はお勧め。</p> <p>初期の油カンテラからカーバイトカンテラ、油安全灯(5 種類)、揮発油安全灯(4 種類)、携帯用電気安全電燈(5 種類)、各種キャップランプ、坑内定着燈、ターボランプ、坑内警報燈、耐圧切羽用電燈 等</p> <p>他に保安器具、組織としての保安体制の変遷なども事故の歴史と一緒に展示、解説されており、炭鉱の安全の歴史を学ぶことが出来る。</p>
訪問時のメンバー	石山秀雄(写真提供)、中田邦臣(別々に見学)
公開状況	<p>開館時間 9:00~17:00 入館は 16:30 まで。</p> <p>休館日 毎週月曜日、12/29~翌年 1/3</p>
入館料 ()内は20名以上の団体料金	<p>一般 100 円(60 円)、大高生 50 円(30 円)、中学生以下 無料</p> <p>土曜日は高校生は無料</p>
問い合わせ先	直方市石炭記念館 TEL&FAX 0949-25-2243
URL	<p>http://www.yumenity.jp/sekitan/sekitan.html</p> <p>http://www.city.nogata.fukuoka.jp/shisetu_sekitan</p>
もっと知りたい方	近くに田川市石炭・歴史博物館、宮田町石炭記念館がある。
見学記録作成	中田邦臣、2013.04